



時中だより

令和3年の漢字

朗

時津町立時津中学校
令和3年度学校だより 9号
令和3年7月13日発行
文責：校長・副校長

被爆体験講話学習&平和学習

7月7日(水)5校時の時間に、被爆の現実等について学習し、平和の大切さについて改めて考えることを目的として「被爆体験講話学習」を実施しました。講師には、被爆体験家族継承者としてご活躍されている、原田真実先生にお越しいただきました。先生は、ご高齢となられた義理のお母様が被爆者ということで、お母様やその他被爆者を体験された方々の貴重な体験を未来へ残していくために、語り部として活動を始められています。お話は、11歳で被爆された「中村一俊さん」が体験された、母親や姉・弟との死別等の体験を絵や写真を用いて感情を込めながら分かりやすくお話していただきました。当日は、TV放送を用いた講話でしたが、生徒たちは真剣に原田先生のお話に耳を傾けていました。

生徒たちは先月から各学年のテーマに基づいて調べ学習を行ってきています。テーマはそれぞれ1年生が「戦中戦後の長崎」、2年生が「戦中戦後の日本」、3年生が「平和のためにできること」です。今後も学習を進めて、平和集会の日に各学年代表による発表を行うこととなります。学習の風景を少しだけ紹介します。



実行委員の松村さんのあいさつ



講話を真剣に聴く3-3の生徒



講話を真剣に聴く2-4の生徒



タブレットPCで作成中



タブレットを見ながら相談中



2-3学級内での発表会

社会を明るくする運動に関する表彰を受けました

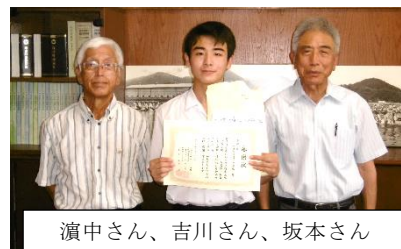
7月12日(月)に長崎地区保護司会の坂本敏弘さんと濱中芳幸さんの2名が来校され、社会を明るくする運動に積極的に参加していることについて表彰状をいただきました。生徒を代表して生徒会長の吉川瑠星さんが表彰状及び記念品(全生徒分)を受け取りました。

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

本校では、毎年生徒たちが本運動に係る作文を書いて提出している実績が認められ、表彰されることとなりました。吉川さんは、「僕たちは、現在『活輝・元気・日本一』を合言葉に日々の学校生活に取り組んでいます。これからも地域での挨拶やふれ合いを通して、時津町を盛り立てていけるよう、そして地域から応援される時津中学校になるよう頑張っていきます。」と力強くお礼の言葉を述べました。



表彰状を受ける吉川生徒会長



濱中さん、吉川さん、坂本さん